

スマイル



特集

## 糖尿病センターが開設されました

新任医師紹介／当院での在宅呼吸療法／2階東病棟について／認定看護師通信 vol.59

## 糖尿病センターが開設されました



2023年1月より、枚方公済病院 内分泌代謝内科に糖尿病センターが開設されました。

糖尿病センター長を拝命しました、田中永昭と申します。前所属は関西電力病院 糖尿病・内分泌代謝センター部長として、糖尿病・内分泌代謝疾患の専門的治療に従事しておりました。また、日本糖尿病協会の企画啓発委員会、グッズ委員会、アドボカシー委員会にも携わり、同協会編集・発行の糖尿病自己管理ノートや糖尿病連携手帳の編集や、糖尿病のある方への誤解や偏見を解消するための活動（アドボカシー活動）に参画しております。

糖尿病・内分泌代謝疾患のエキスパートとして、地域の患者さんや先生方のお役に立てますよう努力いたしますので、何卒よろしく願い申し上げます。

糖尿病センターとして、通常診療のほか、糖尿病教育、フットケア、糖尿病性腎症重症化予防、先進医療などをさらに充実させ、加藤星河医師や医療スタッフとともに、温かいチーム医療を目指します。私たちは、糖尿病のある人が、糖尿病のためにその人の社会的役割や人生そのものに不利になることなく、楽しく活躍できるよう応援したいと考えています。

糖尿病センターが、糖尿病患者さん、スタッフの笑顔が絶えないスポットでありたいと考えております。ライバルは、「ひらパー」です。

内分泌代謝内科部長 糖尿病センター長 田中 永昭

## 新任医師紹介



外科 医長

**阪本 裕亮**

初めまして、外科の阪本裕亮と申します。平成23年卒で、卒後7年間市中病院で研修後、5年弱大学院で研究に従事し、3ヶ月の大学病院勤務を経てこの4月から勤務となりました。

気付けば13年目の医者ではありますが、久々の市中病院勤務で、まずは外科医としての技能を取り戻すと共に、外科領域にとどまらず幅広く臨床経験を積んでいきたいと思っておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



放射線科 副医長

**藤谷 知弘**

3月末まで当院で専攻医としてお世話になり、この4月からは医員として引き続き勤務することになりました、放射線科の藤谷知弘です。毎日CT室とMRI室との間の薄暗いスペース

でモソモソと読影しております。より速くより正確な診断レポートを先生方に提供できるよう、日々精進して参ります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



循環器科 副医長

**中井 久登**

本年4月より新しく赴任して参りました中井久登（なかいひさと）と申します。これまで京都大学医学部附属病院などで勤務しておりました。虚血性心疾患を始め心不全や心筋症など循環器疾患全般に関して広く

対応させていただきます。また、急性冠症候群に対する心臓カテーテル治療といった侵襲的治療だけでなく、生活習慣の改善指導や薬剤調整、地域との連携などを通じて心不全再入院を防ぐような診療にも力を入れております。患者様のQOL改善を主として枚方地域の地域医療に貢献できるように努めて参ります。



泌尿器科 副医長

**菊谷 詩織**

本年4月より赴任しました卒後8年目の泌尿器科の菊谷詩織と申します。出身は大阪府高槻市で、幼い頃は祖母の家が近くにあったためよく枚方付近に来ておりました（が、全く記憶にはありません）。京大病院

のたすきプログラムで初期研修を修了し、神戸中央市民病院と豊岡病院で専攻医を終えた後、京大病院での勤務を経てお世話になることとなりました。去年の11月に出産しまだ子供が幼いため時短勤務ではありますが、患者さんや病院に貢献できるよう、真摯に診療に取り組みたいと思っております。趣味は晩酌と旅行ですが、妊娠してからお酒を飲めていないので卒乳後を楽しみにしております。至らない点が多くご迷惑をおかけすることが多々あるかと存じますが、どうかご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。



# 当院での在宅呼吸療法

当院で処方している在宅呼吸療法は、HOT（酸素療法）CPAP（睡眠時無呼吸に対する陽圧呼吸療法）ASV（心不全に対する陽圧呼吸療法）NPPV（人工呼吸療法）NHF（高流量酸素療法）と、多岐に渡ります。

在宅呼吸療法は何らかの理由で、身体に酸素が取り込みにくくなったり、呼吸が弱くなったりする患者様に対して処方されます。

患者様一人一人の病態に合った物を医師や看護師、その他診療に関わる全てのスタッフと相談し、処方を行います。

その中でも私たち臨床工学技士は患者様に対して、機械の操作方法や注意点の指導を行います。一人で使用することが難しい患者様の場合、ご家族様に対して指導を行ったり、メーカー各社や訪問診療の方々と連携し、地域ぐるみで患者様を支えられるよう努めたりと日々奔走しております。

また外来では、患者様の在宅での呼吸状況を、医師と一緒に確認しています。再度指導が必要な場合や、患者様からの申し出があった場合は時間を取って操作方法の確認や注意点等、安心安全に使用できるように何度でも説明を行います。

当院での取り組みとして、在宅呼吸療法を受けられる患者様に対して、呼吸療法のパンフレットをお渡ししています。

このパンフレットを使用することで、担当の医療スタッフ全員が、患者様の理解度や指導の進行具合を一目で認識できるようになっております。

導入時や日頃の確認だけでなく、メーカーの緊急連絡先も記載しているので、非常時にも利用できます。



外来で患者様から、呼吸が楽になりました、夜よく眠れるようになりました等お声がけいただくことが、私たちにとって何よりの喜びです。

私たち臨床工学技士は、決して表に立つ仕事ではございませんが、医師や地域の診療に携わるスタッフと連携を強め、患者様一人一人が安楽に過ごせるよう、今後とも精進していきます。

在宅呼吸療法チーム 臨床工学技士 藤本 風太

## 2階東病棟についてご案内します

2階東病棟は循環器内科、心臓血管外科の病棟です。心臓カテーテル治療や胸腹部動脈瘤、心臓血管バイパス術、弁置換術術後の患者さんに対し、日々生活指導や心臓リハビリを行っています。循環器系の病棟なので、心電図モニターの数も多く42床のベッドに対しモニターは20個あります。満床時にはこのモニターが全て患者さんに装着されていることもあります。

その場合、患者さんの約半数が装着していることになり管理は非常に大変なものになります。

平均的にモニター装着数は15個を下回ることはありません。そのためモニター監視が疎かにならないように当病棟にはモニター監視係がいます。モニター監視係は心電図の異常を早期に察知し、アラームの原因の一つである電極の不具合、電池切れ、電波切れといったいわゆる無駄鳴りを防止するためにも尽力しています。モニターの無駄鳴りは「慣れ」を生じさせ重大事象へと発展する可能性があります。かと言って無駄鳴り防止のためにモニターを一時中断した場合に、きちんと再開されないままになることも重大事象へと繋がります。そこでモニターの中断と再開がきちんと誰が見てもわかるように取り組むことにしました。具体的な取り組み方法についてはですが、患者さんが病棟を離れる時には写真①のように札を首から下げて離棟します。この札はセントラルモニターの画面の端に普段は貼り付けています（写真②）。患者さんは病棟に帰ってきたら、札を首から外し元のセン

トラルモニターの横に札が付くということですので。これにより患者さんが現在検査もしくはリハビリ等で病棟を離れている状況がわかり、その間無駄鳴りしないようにモニターを中断し、帰棟したら札をセントラルモニターにつけ、モニターを再開する、という流れになっています。この取り組みはリハビリ科、臨床工学科にも協力を得ており、患者さんがリハビリや透析で病棟を出る時、帰ってきたときに声をかけてもらっています。現在は他の病棟でもこの取り組みを開始する予定にしており、心電図モニターへの関心を高めています。このように当病棟では心電図モニター管理を行い患者さんの安全の確保、異常の早期発見に努めています。



写真①

写真②

2階東病棟師長 野村 みより





## 活動報告

当院では、各部署に「急変対応指導者」がいて、各部署で年2回以上の急変対応シミュレーション研修を行っていただいています。その成果もあり、年々救命率も上昇しているのではないかと思います。

今回は、2022年度院内CPA事例報告をします。

1. 院内CPA件数 **15件**
2. CPA記録用紙提出 **11件**  
 ※提出なし：4件 透析室、3号館、2東、HCU
  - ① 勤務帯別  
 日勤 11件、準夜 3件、深夜 1件
  - ② 部署別  
 2西 4件、3西 2件、4西 1件、HCU2件、カテ室 2件、救外 1件 (院外CPA含まない)、  
 透析室 1件、3号館 1件、2東 1件
  - ③ 科別  
 循環器 8件、外科 2件、血内 1件、不明 4件 (記録用紙提出無しのため)
  - ④ 病棟でのROSC件数 (記録用紙提出分 11件より) **4件 66.6% (4/6件)**  
 内訳：2西 PEA (完全房室ブロック) 80歳台  
 2西 不明 (血内ケモ中) 20歳台  
 3西 Asystol (胃ろうOP後) 70歳台  
 3西 VF (膀胱Ca OP後) 90歳台  
 ※ **2020年度は 35% (5/14件)、2018年度は 20% (4/20件)**



### <評価>

- ROSC率が4年前より上昇   
 (速やかな胸骨圧迫がなされるようになりました。速やかにAEDを装着するようになりました。)

### <課題>

- まだまだCPA記録表未提出があります。(正確なデータ取りができません。)
- 心停止時刻の記入がないものがあります。(大事です!)
- 電気ショックが必要なのはVF,VTです。

クリティカルケア認定看護師 村上 千亜紀



## 病棟ごとの勉強会 依頼受付中!

認定看護師会では病棟ごとの勉強会、  
 研修の依頼を受け付けています。  
 既存のテーマでも、看護で困っていることなど  
 なんでも結構です!  
**リクエストお待ちしております!**



## 各分野認定看護師

クリティカルケア：村上	嚥下・摂食障害看護：日向
慢性心不全看護：原谷	がん薬物療法看護：多賀
感染管理：篠原	
集中ケア：水本	
皮膚・排泄ケア：大西	
認知症看護：藤原	
認知症看護：佐藤	





## 認定看護師の豆知識

### 臀部老人性苔癬化皮膚

今回は、高齢者に生じる臀部苔癬化皮膚についてのお話です。

平素、相談を受ける中で「褥瘡かどうか迷うので一緒に観察してください」とよく言われるものの一つです。これは、1979年に「臀裂部を中心に左右対称で、角化、苔癬化、色素沈着している高齢者の臀部の皮膚症状」として報告されました。

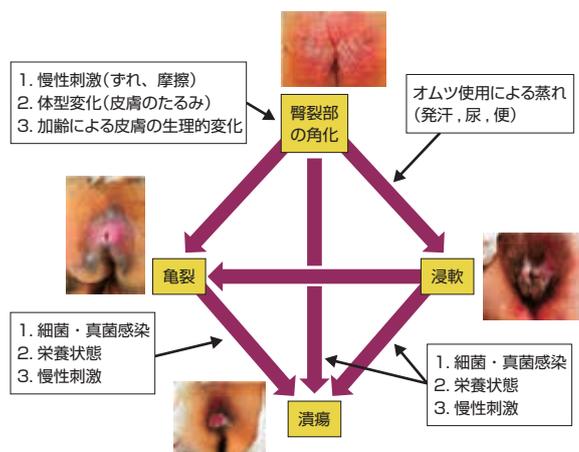


### 発生と悪化のメカニズム

悪化すると潰瘍や亀裂となり褥瘡に見えるため、非常に悩ましいことがあります。

まずは、皮膚が硬く胼胝（たこ）のようになっていないか、排泄物で浸軟していないか確認しましょう。また、皮膚が破綻しないよう撥水ケアで浸軟を予防する、摩擦・ずれを軽減することが悪化させないポイントです。

皮膚・排泄ケア認定看護師 大西 千代



## 理念と基本方針

### 理念 医療への貢献と奉仕

#### 基本方針

- 地域における中核病院として、快適な療養環境と高度な医療を提供する。
- 患者さんの立場を尊重した合理的かつ安全な医療を行う。
- 病院は働き甲斐のある職場を整備し、職員は知識と技術の研鑽に励む。
- 強く、優しく、頼れる病院を目指す。

## 交通のご案内

### JRをご利用の場合

【電車】 JR 学研都市線長尾駅下車 徒歩 10 分

【バス】 長尾駅から京阪バス枚方市駅行【63】に乗車、枚方公済病院下車

【電車】 JR 学研都市線藤阪駅下車 徒歩 10 分

【バス】 藤阪駅から京阪バス長尾駅行【63】に乗車、枚方公済病院下車

### 京阪電車をご利用の場合

【電車】 京阪本線枚方市駅下車（京阪バス南口から長尾駅行）

【バス】 枚方市駅から京阪バス長尾駅行【63】に乗車、枚方公済病院下車

※長尾駅より無料直通シャトルバスを運行しております。

（詳細は当院ホームページをご参照ください）



国家公務員共済組合連合会  
**枚方公済病院**  
地域医療支援病院  
日本医療機能評価機構認定病院



※病院ホームページ

〒573-0153 大阪府枚方市藤阪東町1丁目2番1号  
TEL 072 (858) 8233 FAX 072 (859) 1093  
<https://hirakoh.kkr.or.jp/>